

市民の皆さまへ

～ 釜石保健所管内におけるクラスターの発生について ～

8月12日に、人口10万人当たりの直近1週間の新規患者数が15人を超える16.5人となり、「岩手緊急事態宣言」が発出されました。

その後も県内においては、一日平均40人を超える新規感染者が確認されており、8月19日現在では、人口10万人当たり25.2人まで増加しております。

釜石保健所管内でも、8月15日から連日、新規感染者の確認が続いており、これら一連の感染はスポーツ関連によるクラスター（感染者集団）の発生によるものと公表されております。

現在のところ釜石保健所により感染者の範囲が特定され、感染が拡大することのないようクラスターを封じ込める対応が取られておりますので、いたずらに不安を感じる必要はありません。

しかしながら、県内の感染例は変異株であるデルタ株にほぼ置き換わっており、感染力が高いデルタ株は、これまでとは違うレベルのウイルスであるということに危機感を持つ必要があります。

市民の皆様におかれましては、新規感染をこれ以上増やさないよう、基本的な感染対策を徹底するとともに、人と人の接触を避けるため、不要不急の外出は自粛するようお願いいたします。

なお、市では、この度の岩手緊急事態宣言を受け、感染拡大防止のため各施設の利用制限を実施しています。

市民の皆様には当分の間、ご不便をおかけいたしますが、ご協力をお願いいたします。

令和3年8月19日

釜石市新型コロナウイルス感染症対策本部

本部長 釜石市長 野田 武 則